

学科	科目名	単位	科目責任教員名	実務経験のある教員等による授業科目
基盤科目/基盤教育科目	信仰と文化	2	矢嶋 雅人	曹洞宗の僧侶として約20年間、海應院住職として10年間、地域社会の中で与えられたつとめを担ってきた。坊さんとして接した人、取り組んできたことなどを通して得られた具体的な事例を中心に講義する。(矢嶋) 神職資格を有し、神社での実務を経験。国文学研究ののち再度、大学院にて儀礼・信仰・伝統芸能に関する研究を継続中。民俗芸能学会常務理事。(風早)
基盤科目/基盤教育科目	宇宙と生命の起源	1	坪根 徹	公開天文台の職員として24年勤務。実務経験をもとに天文学とその周辺の学術的、教養的事項について講義する。
基盤科目/基盤教育科目	アジア事情	1	廣橋 雅子	日中、日韓バイリンガル及び海外生活経験、職務経験など国際的に活動している教員を配置した授業になる。書籍からの情報だけではなく、国際的視野を養うことを目的とし、自文化及び多文化に対する興味を持てるよう最新の情報を収集できるよう指導する。
基盤科目/基盤教育科目	ボランティア・住民活動論	2	中嶋 智子	長年ボランティア活動や住民活動に関する実績がある教員が担当します。
基盤科目/基盤教育科目	野外活動論	1	伊藤 光太郎	☆自己負担金1人3～5千円程度が必要です。 資材・食材・機材レンタル・消耗品などの費用負担が必要になります。費用の確定は受講人数にもよるので、開講と同時に伝えします。 ★開講日 隔週で2コマ×4回で実施する。天候判断により延期などもあり得る。 ★内容の変更 授業の進度、天候、資材の調達状況、感染拡大の状況などによって、シラバスの内容からの変更があり得ます。 より効果的に楽しく学ぶための変更になりますのでご了承ください。  ◎愉快地 野外活動は愉快でありたいです。チャレンジに満ちた体験型で、災害時にも支えになる具体的な技術を大いに含んだアウトドア実技・演習中心に授業を進めます。野外活動の楽しさを体感しながら、アウトドア技術・安全（野外におけるリスクマネジメント）・支援者の役割を学んでください。 ◎確実に キャンパス内にカマドを作り、薪をつくり、野外料理をするなど、各回で学ぶ技術は以降の演習でも踏まえる流れになり、技術また安全意識を自然に体得しましょう。野外活動での安全管理・安全技術は身近な機会から将来の仕事などでも大いに役に立ちます。 ◎野外での授業により 晴天時は屋外での授業、雨天時は教室で理論を実施 または 予備日を使うため、授業内容の差し替え・変更が大いにあり得ます。キャンパス内の資源（剪定木や再利用資源）や周辺で得られる素材も活用し、天候含む自然環境に対応します。授業自体がとても充実した野外活動です。 ◎野外での指導・支援の機会は必ずある どの学生にもいつかきっとアウトドアでの支援活動の機会が待っているはず。この授業で基本的な技術を身につけ、安全安心の
基盤科目/基盤教育科目	表現技法Ⅰ	1	風早 康恵	国文学（専門は和歌）の研究に携わる。 「麓短歌会」（昭和51年創設）主宰。
基盤科目/基盤教育科目	医療・ケア中国語	1	廣橋 雅子	台湾在住20年以上、企業通訳・医療通訳を20年以上経験している。 台湾の華語文教師（中国語教師）の資格を有する。
基盤科目/基盤教育科目	家族社会学	2	元橋 利恵	特になし
基盤科目/基盤教育科目	コンピュータの基礎演習	1	三池 克明	PC研修指導・DTP制作の請負を年数回程度、20年（うち4年は合同会社の業務執行社員として）継続している。また大学のICT部門職員（システム管理、データ分析担当）を計9年経験している。これらの経験を踏まえ、情報機器を十分に活用し短時間で仕上げる方法を解説する。
基盤科目/基盤教育科目	多職種連携	1	八尋 道子	八尋：医療福祉現場での多職種連携を経験した教員による授業科目です。 永野：訪問介護事業所での多職種連携の経験を踏まえ授業を行います。
専門基礎科目/専門科目	生活習慣と健康	2	朴 相俊	認定行動療法士の視点と自殺対策を行ってきた研究者の視点から講義を進めます。
専門基礎科目/専門科目	足と健康（基本）	1	宮原 香里	実務経験のある教員等が複数で授業を担当します。（看護師：宮原香里、坂江千寿子、森本彩、ドイツ整形外科靴マイスター：ペーレルッツ、日独通訳者：ドイツWMS子供靴規格協会認定アドバイザー：ペーレ操）

学科	科目名	単位	科目責任教員名	実務経験のある教員等による授業科目
人間福祉学科	ケアワーク論	2	永野 淳子	訪問介護・施設介護に従事していた経験を踏まえ、地域・在宅ケアを中心に授業を行います。
人間福祉学科	ヒューマンケア基礎実習	1	高松 誠	担当教員は、スクールソーシャルワーカー、医療ソーシャルワーカー、高齢者関連施設等での実践経験があり、地域の関連施設とのかかわりを有している。
人間福祉学科	ケアワーク演習・実習	2	島田 千穂	島田千穂：所長代理として特別養護老人ホームに勤務し、認知症ケアの実践経験を踏まえて最新の認知症の人のコミュニケーション技術に関する講義・演習を担当する。 高松誠：小中学校のスクールソーシャルワーカーとしての対人援助の経験を活かし、ケアワークにおける対人援助技術の指導を行う。 脇山園恵：在宅介護支援センター相談員、居宅介護支援事業所の管理者・介護支援専門員、訪問介護事業所の管理者としてのケア実践経験を活かし、日常生活を豊かにするアクティビティケアについて講義・演習を担当する。 永野淳子：介護福祉士として、訪問介護・施設介護に従事していた経験を活かし、施設利用者への生活支援技術について、講義・演習を担当する。
人間福祉学科	高齢者福祉論Ⅱ	2	島田 千穂	島田千穂：所長代理として特別養護老人ホームに勤務し、要介護高齢者、認知症の高齢者へのケアの実践経験を踏まえて高齢者福祉領域の実践に関する講義・演習を担当する
人間福祉学科	児童福祉論Ⅱ	2	高松 誠	私立中高教員、スクールソーシャルワーカーとして勤務（高松） コンサルタント（臨床心理士）として地域子育て支援拠点事業に7年間勤務（尾島）
人間福祉学科	ヒューマンケア情報論	2	中嶋 智子	医療情報システムの部門管理経験があります
人間福祉学科	看護ケア論	2	八尋 道子	教員は二人とも臨床看護師としての実務経験を有しています
人間福祉学科	発達心理学	2	吉田 孝昭	①大中小様々な企業の組織開発、社員教育・リーダーシップ開発教育を担当し、ごく普通の会社員から経営幹部までの発達課題「職業人であり続けること」に接して25年余。②関東～九州までの各大学の公務員試験講座講師として、企業人・公務員への関門突破を支援して15年余。③「キャリア開発論」を創始した、キャリアカウンセラーとして10年余。以上の経験を資料としてさまざまに紹介します。人生を生き抜く生情報として活用してください。
人間福祉学科	貧困の福祉学Ⅱ	2	下村 幸仁	行政（福祉事務所）での生活保護ケースワーカー実務経験や社会福祉協議会でのソーシャルワーカーの実務経験、ホームレス支援、当事者団体との関わりの中で経験した事例を交えて、生活保護を利用する方々に対する自立助長及びホームレスや生活困窮者に対する支援活動をしているNPO法人等との連携のあり方などについて講義を進めていきます。
人間福祉学科	福祉臨床論	2	塩村 公子	Asian American Mental Health Services, N. Y. (U. S. A.) におけるコミュニティワーカー&ケースワーカー；京都国際社会福祉センターにおける主事&相談員；東北福祉大学子ども家庭相談室相談員；宮城野心理臨床センターにおける心理カウンセラー；日本社会福祉士会認定スーパーバイザーなどの経験をもとに、ソーシャルワーク実践について具体的に講義します。
人間福祉学科	地域保健学	2	岡田 真平	1999年から現在まで、長野県東御市（旧北御牧村）を活動拠点に、特に身体活動・運動の分野を切り口とした健康づくりの研究と実践に関わり、子どもから高齢者・障がい者までの地域保健行政等の一翼を担ってきた。現在は、地元自治体での役割に加えて、長野県や全国組織で関連諸分野の役員等を務めている。
人間福祉学科	ケア福祉行政論	2	唐澤 剛	厚生労働省等での38年間の勤務経験を活かし、行政の構造や政策立案の仕組みについて講義する。
人間福祉学科	児童養護論	2	高松 誠	・スクールソーシャルワーカー及び児童関連施設の支援員等の実務経験からは実践現場での子どものかかわりを、中高の教育現場での経験からはソーシャルワーク的な視点からの子どもの支援について言及する。
人間福祉学科	臨床心理学	2	生井 裕子	公認心理師・臨床心理士の資格を有し、公的相談機関及び教育機関における14年間の実務経験に基づき、臨床心理学についての講義を行う。
人間福祉学科	家族臨床学	2	尾島 万里	嗜癮問題を抱えている人の家族相談室に2年半勤務。コンサルタント（臨床心理士）として地域子育て支援拠点事業に8年間勤務。
人間福祉学科	医療ソーシャルワーク論	2	根本 貴子	急性期病院における医療ソーシャルワーカーの実務経験をもとに、医療ソーシャルワークの実践と理論の講義を行う。
人間福祉学科	医療支援ネットワーク論	1	野坂 洋子	急性期病院においての実務経験を活かし、実践で活用できる方法について学ぶ科目とする。
人間福祉学科	カウンセリング	1	倉田 郁也	児童相談所にて、児童虐待相談業務を7年間。 大学のカウンセリングルームにて、カウンセリング業務を6年間。 若者総合相談「若ナビ」にて、電話相談・メール相談を3年間。 これらの実務経験をもとに、カウンセリングについて講義・演習を行う。

学科	科目名	単位	科目責任教員名	実務経験のある教員等による授業科目
人間福祉学科	ケア環境デザイン学	2	佐藤 徹	佐藤徹：日本大学芸術学部デザイン学科教授 ( <a href="https://kenkyu-web.cin.nihon-u.ac.jp/Profiles/37/0003677/profile.html">https://kenkyu-web.cin.nihon-u.ac.jp/Profiles/37/0003677/profile.html</a> )、中林鉄太郎：東京造形大学デザイン学科教授 ( <a href="https://www.zokei.ac.jp/academics/faculty/profile/?id=514&amp;lng=7">https://www.zokei.ac.jp/academics/faculty/profile/?id=514&amp;lng=7</a> )
人間福祉学科	福祉テクノロジー	2	伊藤 英一	リハビリテーションセンターにて福祉用具の研究開発に従事して17年間。その後、社会福祉士養成系大学の教員として18年間。現場と教育の双方の経験を有する。
人間福祉学科	児童福祉論Ⅰ	2	高松 誠	・スクールソーシャルワーカー及び児童関連施設の支援員等の実務経験からは実践現場での子どもとのかかわりを、中高の教育現場での経験からはソーシャルワーク的な視点からの子どもの支援について言及する。
人間福祉学科	貧困の福祉学Ⅰ	2	下村 幸仁	行政（福祉事務所）での生活保護ケースワーカー20年間の実務経験やホームレス支援、当事者団体との関わりのおかげで経験した事例を交えて、生活保護を利用する方々に対する自立助長およびホームレスや生活困窮者に対する支援活動をしているNPO法人等との連携のあり方などについて講義を進めていきます。
人間福祉学科	ソーシャルワーク論Ⅰ	2	脇山 園恵	在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、生活困窮者自立支援機関などで相談援助業務を10年以上行ってきました。実務経験をもとにソーシャルワークの基本的な技術とソーシャルワーカーに求められる役割をできるだけわかりやすく講義します。
人間福祉学科	ソーシャルワーク論Ⅱ	2	野坂 洋子	児童相談所や急性期病院においての実務経験を活かし、理論等を実践に即した具体例を用いて伝える科目とする。
人間福祉学科	ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	高松 誠	主担当者は、県教育委員会のスクールソーシャルワーカー、私立中高教員の経験あり
人間福祉学科	司法福祉論	2	藤原 正範	家庭裁判所調査官として28年間、少年保護事件、家事審判・調停事件の調査を担当した。
人間福祉学科	ソーシャルワーク演習Ⅲ	2	脇山 園恵	根本貴子：医療ソーシャルワーカーの実務経験を活かし、解決志向アプローチなどの活用について演習を担当する。 野坂洋子：児童相談所や急性期病院においての実務経験を活かし、ストレングスマodel等を用いたソーシャルワーク実践の演習を担当する。 脇山園恵：在宅介護支援センター・相談員、居宅介護支援事業所・介護支援専門員としての実践経験を活かし、課題中心アプローチなどの活用について演習を担当する。
人間福祉学科	ソーシャルワーク演習Ⅳ	2	林 宏二	林：矯正施設で社会福祉士として5年間勤務し、受刑者の社会復帰に携わった。その時に身につけたクライアントが抱える課題へのアプローチの方法、また地域組織化の方法、社会資源の活用方法等を講義のなかで伝授する。
人間福祉学科	ソーシャルワーク論Ⅴ	2	田中 尚	精神医療機関・保健福祉機関でのソーシャルワーク実践、自治体・社会福祉協議会等での計画策定および地域福祉施設・機関、教育機関等でのソーシャルワーク・スーパーバイザーとしての実務経験
人間福祉学科	ソーシャルワーク論Ⅲ	2	林 宏二	矯正施設で社会福祉士として5年間勤務し、受刑者の社会復帰に携わった。その時に身につけたクライアントが抱える課題へのアプローチの方法、また地域組織化の方法、社会資源の活用方法等を講義のなかで伝授する。
人間福祉学科	障害の福祉学Ⅱ	2	林 宏二	林：矯正施設で社会福祉士として5年間勤務し、そのなかで精神保健福祉法第26条通報業務に携わった経験を活かし、精神保健に関する理念、制度について具体的に講義する。 佐藤（園）：障害者の社会復帰施設で6年間勤務し、地域生活支援を行った経験を活かし、精神障害リハビリテーションについて講義する。
人間福祉学科	精神保健福祉論Ⅰ	2	佐藤 園美	精神保健福祉士として精神科病院、地域生活支援センターで勤務した経験を基に、具体的事例等を交えて授業を行う。
人間福祉学科	精神保健ソーシャルワーク論	2	江間 由紀夫	精神科病院（12年）ならびに地域生活支援センター（現地域活動支援センターI型：5年）での実務経験を基に精神保健福祉士としての実践的な技術や業務の実際を説明します。精神保健福祉士としての苦労、やりがいなどについても伝えられたらと思います。
人間福祉学科	精神保健学Ⅰ	2	反町 誠	・精神保健福祉士として、保健所・精神保健福祉センター等公的機関における相談支援業務の経験（33年）から学んだことを伝える。
人間福祉学科	精神保健学Ⅱ	2	反町 誠	・精神保健福祉士として、保健所・精神保健福祉センター等公的機関における相談支援業務の経験（33年）から学んだことを伝える。
人間福祉学科	精神保健福祉論Ⅱ	2	佐藤 園美	精神保健福祉士として精神科病院、地域生活支援センターで勤務した経験を基に、具体的事例等を交えて授業を行う。
人間福祉学科	精神保健福祉論Ⅲ	2	江間 由紀夫	精神科病院（12年）ならびに地域生活支援センター（現地域活動支援センターI型：5年）での実務経験を基に精神保健福祉士としての実践的な技術や業務の実際を説明します。精神保健福祉士としての苦労、やりがいなどについても伝えられたらと思います。

学科	科目名	単位	科目責任教員名	実務経験のある教員等による授業科目
人間福祉学科	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	2	佐藤 園美	担当教員は精神科病院、地域生活支援センター（障害者地域活動支援センターⅠ型）等での実務経験を持ち、精神保健福祉士としての理念や援助技術、支援方法について伝えることができます。
人間福祉学科	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	佐藤 園美	担当教員は二人とも精神科病院、地域生活支援センター（障害者地域活動支援センターⅠ型）での実務経験を持ち、精神保健福祉士としての理念や援助技術、支援方法について伝えることができます。
人間福祉学科	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	2	佐藤 園美	担当教員は精神科病院、地域生活支援センター（障害者地域活動支援センターⅠ型）等での実務経験を持ち、精神保健福祉士としての理念や援助技術、支援方法について伝えることができます。
人間福祉学科	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	佐藤 園美	担当教員は二人とも精神科病院、地域生活支援センター（障害者地域活動支援センターⅠ型）での実務経験を持ち、精神保健福祉士としての理念や援助技術、支援方法について伝えることができます。
人間福祉学科	精神保健ソーシャルワーク実習	5	佐藤 園美	担当教員は二人とも精神科病院、地域生活支援センター（障害者地域活動支援センターⅠ型）での実務経験を持ち、精神保健福祉士としての理念や援助技術、支援方法について伝えることができます。